

イ 事業費用

費用比較 (税抜)

(単位 千円・%)

| 科目 | 令和2年度 | | 令和元年度 | | 増減 | 対前年度比率 |
|-------------------|-------------------|--------------|-------------------|--------------|-----------------|----------------|
| | 金額 | 構成比率 | 金額 | 構成比率 | | |
| 医業費用 | 11,769,922 | 96.6 | 11,922,766 | 98.3 | △152,844 | 98.7 |
| 給与費 | 6,676,380 | 54.8 | 6,500,507 | 53.6 | 175,873 | 102.7 |
| 材料費 | 2,326,814 | 19.1 | 2,543,547 | 21.0 | △216,733 | 91.5 |
| 経費 | 1,983,397 | 16.3 | 2,096,820 | 17.3 | △113,423 | 94.6 |
| 減価償却費 | 721,357 | 5.9 | 696,670 | 5.7 | 24,687 | 103.5 |
| 資産減耗費 | 27,837 | 0.2 | 28,680 | 0.2 | △843 | 97.1 |
| 研究研修費 | 34,137 | 0.3 | 56,542 | 0.5 | △22,405 | 60.4 |
| 医業外費用 | 75,666 | 0.7 | 88,766 | 0.8 | △13,100 | 85.2 |
| 支払利息及び 企業債取扱諸費 | 38,608 | 0.4 | 51,697 | 0.5 | △13,088 | 74.7 |
| 長期前払 消費税償却 | 32,256 | 0.3 | 34,034 | 0.3 | △1,778 | 94.8 |
| 雑損失 | 4,801 | 0.0 | 3,035 | 0.0 | 1,767 | 158.2 |
| 附帯事業費用 | 99,797 | 0.8 | 99,262 | 0.8 | 535 | 100.5 |
| 高等看護学院費 | 99,797 | 0.8 | 99,262 | 0.8 | 535 | 100.5 |
| 特別損失 | 232,916 | 1.9 | 12,339 | 0.1 | 220,578 | 1,887.7 |
| 過年度損益 修正損 | 38,807 | 0.3 | 12,339 | 0.1 | 26,468 | 314.5 |
| その他特別損失 | 194,109 | 1.6 | - | - | 194,109 | 皆増 |
| 合計 | 12,178,301 | 100.0 | 12,123,132 | 100.0 | 55,169 | 100.5 |

事業費用は 121 億 7,830 万 1 千円で、前年度に比べ 5,516 万 9 千円 (0.5%) の増加となっている。これは、医業費用で 1 億 5,284 万 4 千円 (1.3%)、医業外費用で 1,310 万円 (14.8%) 減少したものの、特別損失で 2 億 2,057 万 8 千円 (1,787.7%)、附帯事業費用で 53 万 5 千円 (0.5%) 増加したことによる。

事業費用の 96.6% を占める医業費用の減少は、給与費において新型コロナウイルス感染症対応による時間外勤務手当及び特殊勤務手当などで 1 億 7,587 万 3 千円 (2.7%)、減価償却費で 2,468 万 7 千円 (3.5%) 増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により患者数が減少したため、材料費で 2 億 1,673 万 3 千円 (8.5%)、経費で 1 億 1,342 万 3 千円 (5.4%)、感染症防止対策として各種研修会等がオンライン開催になったため研究研修費で 2,240 万 5 千円 (39.6%) 減少したことなどによる。なお、児童手当を除く職員給

与費の医業収益に対する割合は 62.7%で、前年度に比べ 5.3 ポイント高くなっている。

医業外費用の減少は、企業債の償還が進んでいるため、支払利息及び企業債取扱諸費で 1,308 万 8 千円（25.3%）減少したことなどによる。

附帯事業である高等看護学院費用の増加は、会計年度任用職員制度の導入に伴い給料で 325 万 7 千円（9.1%）増加したことなどによる。

特別損失の増加は、その他特別損失で 1 億 9,410 万 9 千円（皆増）、過年度損益修正損で 2,646 万 8 千円（214.5%）増加したことによる。過年度損益修正損は、一般会計繰入金の令和元年度分精算返還分 3,428 万 3 千円などである。その他特別損失は、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金である。

次に、材料費を前年度と比較すると、次表のとおりである。

材 料 費 比 較 （税 抜）

（単位 千円・%）

| 科 目 \ 区 分 | 令和 2 年度 | 令和元年度 | 増 減 | 対前年 年度比率 |
|---------------|-----------|-----------|----------|-------------|
| 薬 品 費 | 1,340,554 | 1,501,260 | △160,706 | 89.3 |
| 投 薬 薬 品 | 166,537 | 202,022 | △35,485 | 82.4 |
| 注 射 薬 品 | 923,450 | 1,056,260 | △132,809 | 87.4 |
| その他の薬品 | 250,567 | 242,978 | 7,589 | 103.1 |
| 診 療 材 料 費 | 975,747 | 1,032,442 | △56,695 | 94.5 |
| 医 療 消 耗 備 品 費 | 10,513 | 9,846 | 667 | 106.8 |
| 合 計 | 2,326,814 | 2,543,547 | △216,733 | 91.5 |

材料費の減少は、薬品費では、その他の薬品で 758 万 9 千円（3.1%）増加したものの、抗がん剤等の高額な薬剤の購入が減少したことにより注射薬品で 1 億 3,280 万 9 千円（12.6%）、投薬薬品で 3,548 万 5 千円（17.6%）減少、診療材料費では、手術件数の減少などにより 5,669 万 5 千円（5.5%）減少したことなどによる。

ウ 損 益

損 益 計 算 比 較 (税 抜)

(単位 千円・%)

| 区 分 | 令和2年度 | 令和元年度 | 増 減 | 対前年度 比率 |
|---|------------|------------|----------|------------|
| 経 常 収 益 | 11,972,063 | 12,090,774 | △118,711 | 99.0 |
| 医 業 収 益 | 10,602,589 | 11,267,840 | △665,251 | 94.1 |
| 医 業 外 収 益 | 1,255,295 | 710,299 | 544,996 | 176.7 |
| 附 帯 事 業 収 入 | 114,180 | 112,636 | 1,544 | 101.4 |
| 経 常 費 用 | 11,945,385 | 12,110,793 | △165,408 | 98.6 |
| 医 業 費 用 | 11,769,922 | 11,922,766 | △152,844 | 98.7 |
| 医 業 外 費 用 | 75,666 | 88,766 | △13,100 | 85.2 |
| 附 帯 事 業 費 用 | 99,797 | 99,262 | 535 | 100.5 |
| 経 常 利 益 (△損失) | 26,679 | △20,019 | 46,698 | 133.3 |
| 特 別 利 益 | 244,531 | - | 244,531 | 皆増 |
| 特 別 損 失 | 232,916 | 12,339 | 220,578 | 1,887.7 |
| 当 年 度 純 利 益 (△損失) | 38,294 | △32,358 | 70,651 | 118.3 |
| 前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金 (△前 年 度 繰 越 欠 損 金) | △333,094 | △300,737 | 32,358 | 110.8 |
| 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 (△当 年 度 未 処 理 欠 損 金) | △294,801 | △333,094 | 38,294 | 88.5 |

経常収益は 119 億 7,206 万 3 千円で、前年度に比べ 1 億 1,871 万 1 千円 (1.0%) の減少となっている。また、経常費用は 119 億 4,538 万 5 千円で、前年度に比べ 1 億 6,540 万 8 千円 (1.4%) の減少となっている。この結果、経常利益は 2,667 万 9 千円となっている。

当年度純利益は、経常利益に特別利益 2 億 4,453 万 1 千円を加え、特別損失 2 億 3,291 万 6 千円を減じた 3,829 万 4 千円となっている。

当年度純利益に前年度繰越欠損金 3 億 3,309 万 4 千円を加えた当年度未処理欠損金は、2 億 9,480 万 1 千円となっている。

次に収益率について、最近5年の推移をみると、次表のとおりである。

収 益 率

(単位 %))

| 分析項目 | 算 式 | 令 和 2 年度 | 令 和 元年度 | 平 成 30 年度 | 平 成 29 年度 | 平 成 28 年度 | 全国平均 (元年度) |
|-----------|--|-------------|------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 総 収 支 比 率 | $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ | 100.3 | 99.7 | 100.4 | 99.8 | 97.2 | 98.6 |
| 経常収支比率 | $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$ | 100.2 | 99.8 | 100.5 | 99.8 | 97.9 | 98.8 |
| 医業収支比率 | $\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$ | 90.1 | 94.5 | 95.3 | 94.8 | 92.6 | 92.5 |

(注) 全国平均は、「令和元年度地方公営企業年鑑」の一般病院500床以上の平均による。

総収支比率は、前年度に比べ 0.6 ポイント高くなっている。この比率は総費用（事業費用）が総収益（事業収益）でどの程度まかなわれているかを示す。

経常収支比率は、前年度に比べ 0.4 ポイント高くなっている。この比率は経常費用が経常収益でどの程度まかなわれているかを示す。

医業収支比率は、前年度に比べ 4.4 ポイント低くなっている。この比率は医業費用が医業収益でどの程度まかなわれているかを示す。

これらの比率は、100%を超えていれば利益を計上していることを示し、高いほど利益率が高い。

総収支比率、経常収支比率は、国からの新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金が交付されたことなどにより 100%を超えているものの、同補助金は医業外収益に区分されるため、医業収支比率は、100%を下回っている。

(P79 審査資料 別表3 経営分析表参照)

(2) 資本的収支の状況

ア 資本的収入

収 入 比 較 (税 込)

(単位 千円・%)

| 科 目 \ 区 分 | 令和2年度 | | 令和元年度 | | 増 減 | 対前年 度比率 |
|-----------|---------|-------|---------|-------|----------|------------|
| | 金 額 | 構成比率 | 金 額 | 構成比率 | | |
| 企 業 債 | 200,000 | 63.1 | 300,000 | 58.8 | △100,000 | 66.7 |
| 出 資 金 | - | - | 18,937 | 3.7 | △18,937 | 皆減 |
| 負 担 金 | 86,136 | 27.2 | 5,000 | 1.0 | 81,136 | 1,722.7 |
| 補 助 金 | 30,873 | 9.7 | 7,506 | 1.5 | 23,367 | 411.3 |
| その他資本的収入 | 0 | 0.0 | 179,000 | 35.0 | △179,000 | 皆減 |
| 合 計 | 317,009 | 100.0 | 510,443 | 100.0 | △193,434 | 62.1 |

資本的収入額は、前年度に比べ1億9,343万4千円(37.9%)の減少となっている。これは、負担金で8,113万6千円(1,622.7%)、補助金で2,336万7千円(311.3%)増加したものの、その他資本的収入で1億7,900万円(皆減)、企業債で1億円(33.3%)、出資金で1,893万7千円(皆減)減少したことによる。

企業債は、医療機器整備に係る2億円である。

負担金は、一般会計からの繰入で、企業債償還と医療器械備品の購入に係るものである。

補助金は、国からの新型コロナウイルス感染症対策支援事業費補助金2,771万1千円、保健衛生施設等施設・設備整備費国庫補助金316万2千円である。

イ 資本的支出

支 出 比 較 (税 込)

(単位 千円・%)

| 科 目 \ 区 分 | 令和2年度 | | 令和元年度 | | 増 減 | 対前年 度比率 |
|-------------|-----------|-------|-----------|-------|----------|------------|
| | 金 額 | 構成比率 | 金 額 | 構成比率 | | |
| 建 設 改 良 費 | 447,563 | 34.2 | 588,648 | 38.8 | △141,085 | 76.0 |
| 企 業 債 償 還 金 | 862,864 | 65.8 | 928,481 | 61.2 | △65,617 | 92.9 |
| 合 計 | 1,310,427 | 100.0 | 1,517,129 | 100.0 | △206,702 | 86.4 |

資本的支出額は、前年度に比べ2億670万2千円(13.6%)の減少となっている。これは、建設改良費で1億4,108万5千円(24.0%)、企業債償還金で6,561万7千円(7.1%)減少したことによる。

建設改良費の主なものは、医療器械備品の購入である。

ウ 収支差引

資本的収入額 3 億 1,700 万 9 千円から資本的支出額 13 億 1,042 万 7 千円を差し引いた資本的収支差引不足額は 9 億 9,341 万 8 千円である。これは、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 85 万 1 千円、過年度分損益勘定留保資金（減価償却費等） 8 億 8,447 万円及び当年度分損益勘定留保資金（減価償却費等） 1 億 809 万 7 千円で補てんされている。

4 財政状態

(1) 資産

資 産 比 較

(単位 千円・%)

| 区 分 科 目 | 令和2年度 | | 令和元年度 | | 増 減 | 対前年 度比率 |
|-------------|-------------------|--------------|-------------------|--------------|-----------------|--------------|
| | 金 額 | 構成比率 | 金 額 | 構成比率 | | |
| 固定資産 | 13,239,985 | 72.1 | 13,430,529 | 73.2 | △190,545 | 98.6 |
| 有形固定資産 | 9,971,139 | 54.3 | 10,135,487 | 55.3 | △164,348 | 98.4 |
| 無形固定資産 | 30,906 | 0.2 | 61,812 | 0.3 | △30,906 | 50.0 |
| 投資その他の資産 | 3,237,939 | 17.6 | 3,233,230 | 17.6 | 4,710 | 100.1 |
| 長期貸付金 | 3,141,000 | 17.1 | 3,141,000 | 17.1 | 0 | 100.0 |
| 長期前払消費税 | 96,939 | 0.5 | 92,230 | 0.5 | 4,710 | 105.1 |
| 流動資産 | 5,113,599 | 27.9 | 4,911,392 | 26.8 | 202,206 | 104.1 |
| 現金預金 | 2,856,384 | 15.6 | 3,033,732 | 16.5 | △177,348 | 94.2 |
| 未収金 | 2,213,184 | 12.1 | 1,835,150 | 10.1 | 378,034 | 120.6 |
| 貯蔵品 | 40,880 | 0.2 | 39,359 | 0.2 | 1,521 | 103.9 |
| 前払金 | 1,329 | 0.0 | 1,329 | 0.0 | 0 | 100.0 |
| 預け金 | 1,822 | 0.0 | 1,822 | 0.0 | 0 | 100.0 |
| 資産合計 | 18,353,584 | 100.0 | 18,341,922 | 100.0 | 11,662 | 100.1 |

資産合計は、前年度に比べ 1,166 万 2 千円 (0.1%) 増加し、183 億 5,358 万 4 千円となっている。これは、固定資産で 1 億 9,054 万 5 千円 (1.4%) 減少したものの、流動資産で 2 億 220 万 6 千円 (4.1%) 増加したことによる。

固定資産のうち有形固定資産で増加した主なものは、次のとおりである。

| | | |
|-------|---------------|------------------|
| 器械備品 | 超電導磁気共鳴断層撮影装置 | 9,870 万円 |
| | デジタルX線撮影装置 | 2,420 万円 |
| | デジタルX線TV装置 | 2,380 万円 |
| リース資産 | X線CT装置 | 1 億 7,560 万 8 千円 |

一方、減少した主なものは、器械備品の除却 2,783 万 7 千円、減価償却 6 億 9,045 万 1 千円である。

無形固定資産で減少したものは、電子カルテ総合医療情報システム (ソフトウェア) の減価償却 3,090 万 6 千円である。

投資その他の資産で増加したものは、長期前払消費税 471 万円である。

流動資産の増加は、現金預金で 1 億 7,734 万 8 千円 (5.8%) 減少したものの、未収金で

3億7,803万4千円（20.6%）、貯蔵品で152万1千円（3.9%）増加したことによる。

未収金の主なものは、国からの新型コロナウイルス感染症患者入院病床確保対策事業費補助金（第3期）3億5,982万6千円である。

次に、未収金については、次表のとおりである。

未 収 金 比 較

（単位 千円・%）

| 区 分 科 目 | 令和2年度 | 令和元年度 | 増 減 | 対前年度比率 |
|--------------------|------------------|------------------|----------------|----------------|
| 医 業 未 収 金 | 1,823,188 | 1,832,518 | △9,330 | 99.5 |
| 入 院 収 入 | 1,379,263 | 1,379,246 | 18 | 100.0 |
| 外 来 収 入 | 437,044 | 443,752 | △6,708 | 98.5 |
| 公衆衛生活動収入 | 6,186 | 6,020 | 166 | 102.8 |
| 医療相談収入 | 52 | 2,435 | △2,382 | 2.1 |
| その他医業収入 | 642 | 1,066 | △424 | 60.3 |
| 医 業 外 未 収 金 | 421,472 | 35,931 | 385,541 | 1,173.0 |
| 補 助 金（3条） | 371,660 | 9,207 | 362,453 | 4,036.7 |
| 負 担 金 | 23,994 | 536 | 23,458 | 4,473.5 |
| その他医業外収入 | 21,974 | 19,458 | 2,517 | 112.9 |
| 厚生福利費戻入 | 3,844 | 6,730 | △2,885 | 57.1 |
| 貸 倒 引 当 金 | △31,476 | △33,299 | 1,823 | 94.5 |
| 合 計 | 2,213,184 | 1,835,150 | 378,034 | 120.6 |

流動資産のうち未収金は22億1,318万4千円で、前年度に比べ3億7,803万4千円（20.6%）の増加となっている。これは、医業未収金で933万円（0.5%）減少したものの、医業外未収金で3億8,554万1千円（1,073.0%）増加したことなどによる。

未収金のうち、新型コロナウイルス感染症患者入院病床確保対策事業費補助金（第3期）3億5,982万6千円は5月10日付けで、退職手当負担金2,399万4千円は4月12日付けで入金されている。

なお、未収金の不納欠損による損失に備えるため、回収不能見込額について、貸倒実績を個々の性質ごとに区分し、中長期的な不納欠損の状況を勘案のうえ、適切な額を貸倒引当金として計上している。

次に、医業未収金については、次表のとおりである。

医 業 未 収 金 比 較

(単位 件・千円・%)

| 区 分 | 令和2年度 | | 令和元年度 | | 増 減 | | |
|----------|-------|-----------|-------|-----------|------|---------|------------|
| | 件 数 | 金 額 | 件 数 | 金 額 | 件 数 | 金 額 | 対前年 度比率 |
| 現年度医業未収金 | 3,100 | 1,769,825 | 3,401 | 1,776,242 | △301 | △6,416 | 99.6 |
| 給付団体 | 23 | 1,696,569 | 22 | 1,683,755 | 1 | 12,815 | 100.8 |
| 個 人 | 3,077 | 73,256 | 3,379 | 92,487 | △302 | △19,231 | 79.2 |
| 過年度医業未収金 | 2,434 | 53,362 | 2,609 | 56,277 | △175 | △2,914 | 94.8 |
| 個 人 | 2,434 | 53,362 | 2,609 | 56,277 | △175 | △2,914 | 94.8 |
| 合 計 | 5,534 | 1,823,188 | 6,010 | 1,832,518 | △476 | △9,330 | 99.5 |
| 給付団体 | 23 | 1,696,569 | 22 | 1,683,755 | 1 | 12,815 | 100.8 |
| 個 人 | 5,511 | 126,618 | 5,988 | 148,763 | △477 | △22,145 | 85.1 |

現年度医業未収金の大半は、給付団体から2か月遅れで収納されるものである。

(2) 負債・資本

負債・資本比較

(単位 千円・%)

| 区 分 科 目 | 令和2年度 | | 令和元年度 | | 増 減 | 対前年 度比率 |
|------------------------------------|-------------------|--------------|-------------------|--------------|-----------------|--------------|
| | 金 額 | 構成比率 | 金 額 | 構成比率 | | |
| 固定負債 | 2,832,521 | 15.5 | 2,978,597 | 16.3 | △146,076 | 95.1 |
| 企業債 | 921,018 | 5.0 | 1,532,825 | 8.4 | △611,806 | 60.1 |
| 建設改良費等の財源 に充てるための企業債 | 921,018 | 5.0 | 1,532,825 | 8.4 | △611,806 | 60.1 |
| 引当金 | 1,756,029 | 9.6 | 1,422,263 | 7.8 | 333,766 | 123.5 |
| 退職給付引当金 | 1,756,029 | 9.6 | 1,422,263 | 7.8 | 333,766 | 123.5 |
| リース債務 | 155,474 | 0.9 | 23,509 | 0.1 | 131,964 | 661.3 |
| 流動負債 | 2,296,427 | 12.4 | 2,167,694 | 11.8 | 128,733 | 105.9 |
| 企業債 | 811,806 | 4.4 | 862,864 | 4.7 | △51,058 | 94.1 |
| 建設改良費等の財源 に充てるための企業債 | 811,806 | 4.4 | 862,864 | 4.7 | △51,058 | 94.1 |
| 未払金 | 978,664 | 5.3 | 842,986 | 4.6 | 135,678 | 116.1 |
| 医業未払金 | 604,690 | 3.3 | 675,843 | 3.7 | △71,152 | 89.5 |
| その他未払金 | 373,973 | 2.0 | 167,143 | 0.9 | 206,830 | 223.7 |
| 引当金 | 409,697 | 2.2 | 382,577 | 2.1 | 27,120 | 107.1 |
| 賞与引当金 | 409,697 | 2.2 | 382,577 | 2.1 | 27,120 | 107.1 |
| 預り金 | 55,055 | 0.3 | 52,894 | 0.3 | 2,161 | 104.1 |
| リース債務 | 41,205 | 0.2 | 26,373 | 0.1 | 14,832 | 156.2 |
| 繰延収益 | 726,825 | 4.0 | 736,124 | 4.0 | △9,299 | 98.7 |
| 長期前受金 | 2,827,112 | 15.4 | 2,916,053 | 15.9 | △88,941 | 96.9 |
| 長期前受金収益化累計額 | △2,100,287 | △11.4 | △2,179,929 | △11.9 | 79,642 | 96.3 |
| 負債合計 | 5,855,773 | 31.9 | 5,882,415 | 32.1 | △26,642 | 99.5 |
| 資本金 | 10,439,546 | 56.9 | 10,439,546 | 56.9 | 0 | 100.0 |
| 剰余金 | 2,058,264 | 11.2 | 2,019,960 | 11.0 | 38,304 | 101.9 |
| 資本剰余金 | 444,720 | 2.4 | 444,710 | 2.4 | 10 | 100.0 |
| 利益剰余金 | 1,613,544 | 8.8 | 1,575,250 | 8.6 | 38,294 | 102.4 |
| (うち当年度未処分利益 剰余金・△当年度未処理 欠損金) | (△294,801) | (△1.6) | (△333,094) | (△1.8) | (38,294) | (88.5) |
| 資本合計 | 12,497,810 | 68.1 | 12,459,507 | 67.9 | 38,304 | 100.3 |
| 負債資本合計 | 18,353,584 | 100.0 | 18,341,922 | 100.0 | 11,662 | 100.1 |

ア 負債

負債合計は 58 億 5,577 万 3 千円で、前年度に比べ 2,664 万 2 千円（0.5%）の減少となっている。これは、流動負債で 1 億 2,873 万 3 千円（5.9%）増加したものの、固定負債で 1 億 4,607 万 6 千円（4.9%）、繰延収益で 929 万 9 千円（1.3%）減少したことによる。固定負債の減少は企業債の償還が進んでいることによるものである。

なお、企業債は、新たに 2 億円を借り入れ、8 億 6,286 万 4 千円の元金償還を行ったため、固定負債と流動負債を合わせた当年度末の未償還残高は 6 億 6,286 万 4 千円（27.7%）減少し、17 億 3,282 万 5 千円となっている。（P72 グラフ参照）

流動負債の増加は医療器械備品の購入などによる。

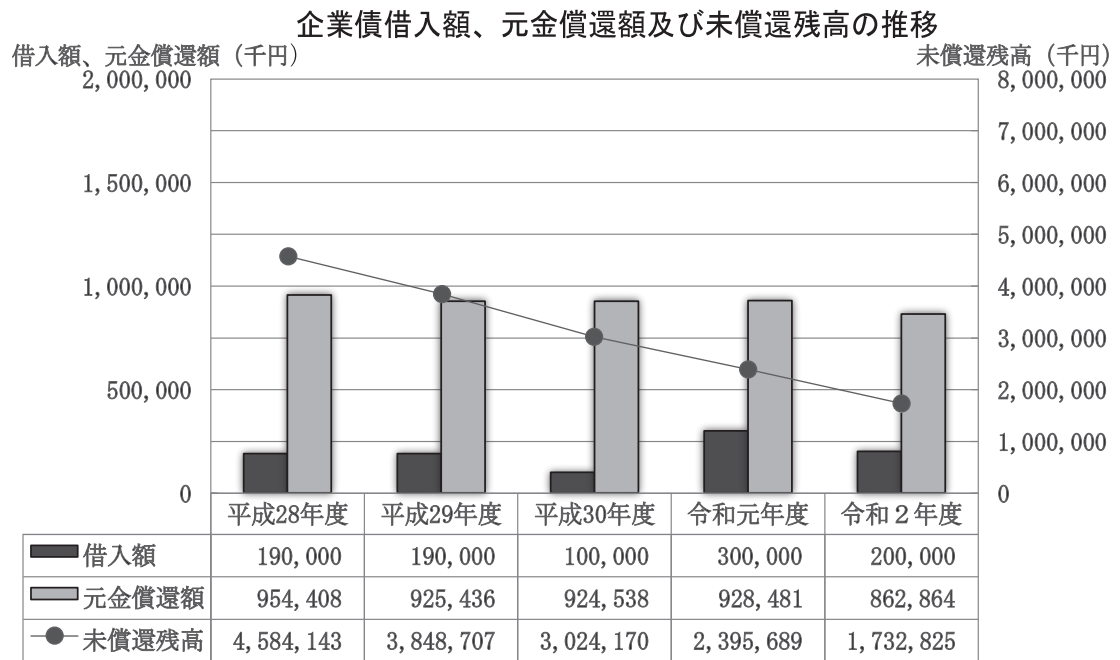
繰延収益のうち長期前受金の内訳は、補助金 14 億 2,117 万 2 千円、負担金 13 億 7,082 万 6 千円、受贈財産評価額 3,511 万 5 千円となっており、長期前受金収益化累計額の内訳は、負担金 12 億 4,708 万 2 千円、補助金 8 億 2,025 万 3 千円、受贈財産評価額 3,295 万 3 千円となっている。

イ 資本

資本合計は 124 億 9,781 万円で、前年度に比べ 3,830 万 4 千円（0.3%）の増加となっている。これは、剰余金で 3,830 万 4 千円（1.9%）増加したことによる。剰余金の増加は、利益剰余金が増加したことなどによる。

資本剰余金の内訳は、受贈財産評価額 4 億 3,472 万円、寄附金 1,000 万円となっており、利益剰余金の内訳は、建設改良積立金 18 億 9,254 万 5 千円、当年度未処理欠損金 2 億 9,480 万 1 千円、減債積立金 1,580 万円となっている。

企業債借入額、元金償還額及び未償還残高について、最近5年間の推移をみると、次表のとおりである。



(3) 経営分析に係る諸比率

経営分析表

(単位 %・回)

| 区分 | 分析項目 | 令和 2年度 | 令和 元年度 | 平成 30年度 | 平成 29年度 | 平成 28年度 | 全国平均 (元年度) |
|----------|------------------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|---------------|
| 構成 比率 | 固定資産構成比率 | 72.1 | 73.2 | 73.7 | 74.5 | 76.7 | 77.0 |
| | 自己資本構成比率 | 72.1 | 71.9 | 70.7 | 68.3 | 66.5 | 27.6 |
| 財務 比率 | 固定比率 | 100.1 | 101.8 | 104.2 | 109.0 | 115.3 | 279.1 |
| | 固定資産対長期資本 比率(長期適合率) | 82.5 | 83.0 | 83.4 | 83.6 | 85.7 | 90.4 |
| | 流動比率 | 222.7 | 226.6 | 225.8 | 234.7 | 220.8 | 155.5 |
| | 当座比率 | 220.8 | 226.1 | 224.2 | 232.5 | 218.5 | 149.4 |
| 回転率 | 固定資産回転率 | 0.80 | 0.83 | 0.78 | 0.74 | 0.67 | 0.72 |

(注) 全国平均は、「令和元年度地方公営企業年鑑」の総平均による。

固定資産構成比率は、前年度に比べ 1.1 ポイント低くなっている。この比率は資産合計に占める固定資産の割合を示し、低いほうが柔軟な経営が可能となる。

自己資本構成比率は、前年度に比べ 0.2 ポイント高くなっている。この比率は負債・資本合計に占める資本金、剰余金と繰延収益の割合を示し、高いほうが経営の安定化が図られる。

固定比率は、前年度に比べ 1.7 ポイント低くなっている。この比率は固定資産が資本金、剰余金と繰延収益でどの程度まかなわれているかを示す。固定資産対長期資本比率は、前年度に比べ 0.5 ポイント低くなっている。この比率は固定資産が資本金、剰余金、固定負債と繰延収益の合計額以内でまかなわれているかを示す。ともに 100%以下が望ましいとされているが、固定比率は 100%をわずかに超えているものの、固定資産対長期資本比率は 100%を下回っている。

流動比率は、前年度に比べ 3.9 ポイント低くなっている。この比率は流動資産と流動負債との対比で 1 年以内の支払能力を示す。当座比率は、前年度に比べ 5.3 ポイント低くなっている。この比率は流動資産のうち現金及び預金、未収金といった当座資産と流動負債との対比で 1 年以内の支払能力を示す。それぞれ望ましいとされる、流動比率 200%以上、当座比率 100%以上をともに上回っている。

固定資産回転率は、前年度に比べ 0.03 回小さくなっている。この比率は固定資産の利用度を示し、数値は大きいほど施設(固定資産)がより有効に稼働していることを表す。

(P79 審査資料 別表 3 経営分析表参照)

5 資金の状況

(1) キャッシュ・フロー

キャッシュ・フロー計算書〈間接法〉

(単位 千円)

| 区 分 | 令和2年度 | 令和元年度 | 増 減 |
|-----------------------------|------------------|------------------|-----------------|
| 1 業務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 当年度純利益 (△は純損失) | 38,294 | △32,358 | 70,651 |
| 減価償却費 | 721,357 | 696,670 | 24,687 |
| 固定資産除却費 | 27,837 | 28,680 | △843 |
| 長期前払消費税償却 | 32,256 | 34,034 | △1,778 |
| 長期前受金戻入額 | △126,305 | △43,506 | △82,799 |
| 引当金の増減額 (△は減少) | 360,886 | 257,935 | 102,952 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,496 | △2,135 | 639 |
| 支払利息 | 38,608 | 51,697 | △13,088 |
| 未収金の増減額 (△は増加) | △376,211 | △103,204 | △273,007 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △1,823 | 27,242 | △29,065 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △1,521 | △1,123 | △398 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 135,678 | 58,163 | 77,515 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 2,161 | 1,241 | 921 |
| その他の事業費 | 2,609 | 2,198 | 411 |
| 小計 | 852,331 | 975,533 | △123,202 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,496 | 2,135 | △639 |
| 利息の支払額 | △38,608 | △51,697 | 13,088 |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | 815,219 | 925,971 | △110,753 |
| 2 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 固定資産の取得による支出 | △446,712 | △587,379 | 140,667 |
| 国庫補助金等の収入 | 30,873 | 7,506 | 23,367 |
| 一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入 | 0 | 18,937 | △18,937 |
| 負担金による収入 | 86,136 | 5,000 | 81,136 |
| 長期貸付金の償還による収入 | 0 | 179,000 | △179,000 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △329,702 | △376,936 | 47,233 |
| 3 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入 | 200,000 | 300,000 | △100,000 |
| 建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出 | △862,864 | △928,481 | 65,617 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △662,864 | △628,481 | △34,383 |
| 資金の増加額 (又は減少額) | △177,348 | △79,445 | △97,903 |
| 資金期首残高 | 3,033,732 | 3,113,177 | △79,445 |
| 資金期末残高 | 2,856,384 | 3,033,732 | △177,348 |

業務活動によるキャッシュ・フローは、8億1,521万9千円のプラスとなっている。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億2,970万2千円のマイナスとなっている。

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億6,286万4千円のマイナスとなっている。

この結果、当年度の資金は1億7,734万8千円の減少となっており、資金期末残高は28億5,638万4千円となっている。

業務活動により生み出された資金は、投資活動における固定資産の取得による支出（医療機器の購入）、財務活動における建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出に充てられているといえる。

審 査 資 料

別表 1

予 算 決 算 対 照 表 (税 込)

1 収益的収入及び支出

(単位 千円・%)

| 区 分 | | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 引 増 減 又は不用額 | 執 行 率 |
|----------|-----------------|------------|------------|------------------|-------|
| 収 入 | 1 病院事業収益 | 13,725,598 | 12,238,394 | △1,487,204 | 89.2 |
| | (1) 医 業 収 益 | 12,722,051 | 10,621,014 | △2,101,037 | 83.5 |
| | (2) 医 業 外 収 益 | 696,479 | 1,258,664 | 562,185 | 180.7 |
| | (3) 附 帯 事 業 収 入 | 113,868 | 114,185 | 317 | 100.3 |
| | (4) 特 別 利 益 | 193,200 | 244,531 | 51,331 | 126.6 |
| 支 出 | 1 病院事業費用 | 13,725,581 | 12,183,960 | 1,541,621 | 88.8 |
| | (1) 医 業 費 用 | 13,300,614 | 11,775,539 | 1,525,075 | 88.5 |
| | (2) 医 業 外 費 用 | 97,899 | 75,666 | 22,233 | 77.3 |
| | (3) 附 帯 事 業 費 用 | 113,868 | 99,839 | 14,029 | 87.7 |
| | (4) 特 別 損 失 | 203,200 | 232,916 | △29,716 | 114.6 |
| | (5) 予 備 費 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0.0 |
| 収益的収支差引額 | | 17 | 54,433 | | |

2 資本的収入及び支出

(単位 千円・%)

| 区 分 | | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 引 増 減 又は不用額 | 執 行 率 |
|------------------------|-----------------|------------|-----------|------------------|---------|
| 収 入 | 1 資本的収入 | 317,818 | 317,009 | △809 | 99.8 |
| | (1) 企 業 債 | 200,000 | 200,000 | 0 | 100.0 |
| | (2) 負 担 金 | 86,136 | 86,136 | 0 | 100.0 |
| | (3) 補 助 金 | 31,582 | 30,873 | △709 | 97.8 |
| | (4) その他資本的収入 | 100 | 0 | △100 | 0.0 |
| 支 出 | 1 資本的支出 | 1,344,447 | 1,310,427 | 34,020 | 97.5 |
| | (1) 建 設 改 良 費 | 480,582 | 447,563 | 33,019 | 93.1 |
| | (2) 企 業 債 償 還 金 | 862,865 | 862,864 | 1 | 100.0 |
| | (3) 予 備 費 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0.0 |
| 資本的収支差引額 | | △1,026,629 | △993,418 | | |
| 資本的収支差引不足額の補てん財源 | | | | | |
| 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 | | | | | 851 |
| 過年度分損益勘定留保資金 | | | | | 884,470 |
| 当年度分損益勘定留保資金 | | | | | 108,097 |

別表 2

科別入院、外来収益及び患者数比較表（税抜）

（単位 千円・人・％）

| 科名 | 年度 | 令和2年度 | | 令和元年度 | | 増 減 | | 対前年度比率 | |
|-------|----|-----------|--------|-----------|--------|-----------|---------|--------|-------|
| | 区分 | 収 入 | 年延患者数 | 収 入 | 年延患者数 | 収 入 | 年延患者数 | 収 入 | 年延患者数 |
| 消化器科 | 入院 | 917,363 | 18,459 | 863,227 | 18,637 | 54,136 | △ 178 | 106.3 | 99.0 |
| | 外来 | 343,970 | 16,072 | 355,699 | 16,711 | △ 11,728 | △ 639 | 96.7 | 96.2 |
| | 計 | 1,261,333 | 34,531 | 1,218,925 | 35,348 | 42,408 | △ 817 | 103.5 | 97.7 |
| 呼吸器科 | 入院 | 778,249 | 16,480 | 790,927 | 17,712 | △ 12,677 | △ 1,232 | 98.4 | 93.0 |
| | 外来 | 179,073 | 9,266 | 215,421 | 9,176 | △ 36,348 | 90 | 83.1 | 101.0 |
| | 計 | 957,322 | 25,746 | 1,006,348 | 26,888 | △ 49,025 | △ 1,142 | 95.1 | 95.8 |
| 循環器科 | 入院 | 515,749 | 8,180 | 547,416 | 9,032 | △ 31,666 | △ 852 | 94.2 | 90.6 |
| | 外来 | 72,892 | 6,954 | 74,873 | 8,039 | △ 1,982 | △ 1,085 | 97.4 | 86.5 |
| | 計 | 588,641 | 15,134 | 622,289 | 17,071 | △ 33,648 | △ 1,937 | 94.6 | 88.7 |
| 内科 | 入院 | 549,382 | 11,526 | 700,264 | 14,293 | △ 150,882 | △ 2,767 | 78.5 | 80.6 |
| | 外来 | 744,092 | 32,171 | 790,539 | 32,858 | △ 46,447 | △ 687 | 94.1 | 97.9 |
| | 計 | 1,293,474 | 43,697 | 1,490,803 | 47,151 | △ 197,329 | △ 3,454 | 86.8 | 92.7 |
| 精神科 | 入院 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 外来 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - |
| 脳神経科 | 入院 | 367,212 | 8,342 | 323,323 | 7,907 | 43,889 | 435 | 113.6 | 105.5 |
| | 外来 | 54,669 | 5,122 | 64,325 | 5,715 | △ 9,656 | △ 593 | 85.0 | 89.6 |
| | 計 | 421,880 | 13,464 | 387,647 | 13,622 | 34,233 | △ 158 | 108.8 | 98.8 |
| 小児科 | 入院 | 240,115 | 4,787 | 396,068 | 7,864 | △ 155,953 | △ 3,077 | 60.6 | 60.9 |
| | 外来 | 105,471 | 7,629 | 127,207 | 10,346 | △ 21,737 | △ 2,717 | 82.9 | 73.7 |
| | 計 | 345,585 | 12,416 | 523,275 | 18,210 | △ 177,690 | △ 5,794 | 66.0 | 68.2 |
| 外科 | 入院 | 895,595 | 13,290 | 907,088 | 13,731 | △ 11,493 | △ 441 | 98.7 | 96.8 |
| | 外来 | 231,306 | 13,093 | 247,949 | 13,698 | △ 16,642 | △ 605 | 93.3 | 95.6 |
| | 計 | 1,126,902 | 26,383 | 1,155,037 | 27,429 | △ 28,135 | △ 1,046 | 97.6 | 96.2 |
| 整形外科 | 入院 | 506,256 | 10,021 | 589,909 | 12,401 | △ 83,653 | △ 2,380 | 85.8 | 80.8 |
| | 外来 | 66,360 | 9,113 | 71,076 | 10,195 | △ 4,716 | △ 1,082 | 93.4 | 89.4 |
| | 計 | 572,616 | 19,134 | 660,985 | 22,596 | △ 88,369 | △ 3,462 | 86.6 | 84.7 |
| 脳神経外科 | 入院 | 1,346,068 | 19,207 | 1,361,518 | 20,704 | △ 15,450 | △ 1,497 | 98.9 | 92.8 |
| | 外来 | 123,519 | 9,139 | 126,873 | 9,292 | △ 3,353 | △ 153 | 97.4 | 98.4 |
| | 計 | 1,469,588 | 28,346 | 1,488,391 | 29,996 | △ 18,803 | △ 1,650 | 98.7 | 94.5 |
| 皮膚科 | 入院 | 70,385 | 1,860 | 101,431 | 2,760 | △ 31,047 | △ 900 | 69.4 | 67.4 |
| | 外来 | 69,574 | 11,802 | 80,237 | 13,613 | △ 10,663 | △ 1,811 | 86.7 | 86.7 |
| | 計 | 139,959 | 13,662 | 181,669 | 16,373 | △ 41,710 | △ 2,711 | 77.0 | 83.4 |

(単位 千円・人・%)

| 科名 | 年度 | 令和2年度 | | 令和元年度 | | 増 減 | | 対前年度比率 | |
|--------------------|----|------------|---------|------------|---------|-----------|----------|---------|---------|
| | 区分 | 収 入 | 年延患者数 | 収 入 | 年延患者数 | 収 入 | 年延患者数 | 収 入 | 年延患者数 |
| 泌尿器科 | 入院 | 357,631 | 6,610 | 397,786 | 7,439 | △ 40,155 | △ 829 | 89.9 | 88.9 |
| | 外来 | 295,241 | 14,676 | 298,444 | 15,417 | △ 3,203 | △ 741 | 98.9 | 95.2 |
| | 計 | 652,872 | 21,286 | 696,231 | 22,856 | △ 43,358 | △ 1,570 | 93.8 | 93.1 |
| 産婦人科 | 入院 | 300,662 | 5,176 | 291,880 | 5,287 | 8,782 | △ 111 | 103.0 | 97.9 |
| | 外来 | 62,704 | 10,675 | 56,779 | 10,100 | 5,925 | 575 | 110.4 | 105.7 |
| | 計 | 363,366 | 15,851 | 348,660 | 15,387 | 14,707 | 464 | 104.2 | 103.0 |
| 眼 科 | 入院 | 96,770 | 1,333 | 156,276 | 2,540 | △ 59,506 | △ 1,207 | 61.9 | 52.5 |
| | 外来 | 107,070 | 11,584 | 113,184 | 12,315 | △ 6,114 | △ 731 | 94.6 | 94.1 |
| | 計 | 203,840 | 12,917 | 269,460 | 14,855 | △ 65,620 | △ 1,938 | 75.6 | 87.0 |
| 耳鼻咽喉・ 頭頸部外科 | 入院 | 363,531 | 5,727 | 353,080 | 6,409 | 10,451 | △ 682 | 103.0 | 89.4 |
| | 外来 | 168,856 | 12,392 | 141,329 | 13,513 | 27,527 | △ 1,121 | 119.5 | 91.7 |
| | 計 | 532,388 | 18,119 | 494,409 | 19,922 | 37,978 | △ 1,803 | 107.7 | 90.9 |
| 放射線科 | 入院 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 外来 | 96,597 | 4,081 | 101,836 | 4,216 | △ 5,239 | △ 135 | 94.9 | 96.8 |
| | 計 | 96,597 | 4,081 | 101,836 | 4,216 | △ 5,239 | △ 135 | 94.9 | 96.8 |
| 麻 酔 科 | 入院 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 外来 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | - |
| 歯 科 | 入院 | 6,686 | 94 | 7,165 | 119 | △ 478 | △ 25 | 93.3 | 79.0 |
| | 外来 | 25,354 | 3,416 | 28,432 | 4,080 | △ 3,078 | △ 664 | 89.2 | 83.7 |
| | 計 | 32,040 | 3,510 | 35,596 | 4,199 | △ 3,556 | △ 689 | 90.0 | 83.6 |
| 形成外科 | 入院 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 外来 | 967 | 272 | 13 | 18 | 955 | 254 | 7,645.7 | 1,511.1 |
| | 計 | 967 | 272 | 13 | 18 | 955 | 254 | 7,645.7 | 1,511.1 |
| リハビリ テーション 科 | 入院 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 外来 | 2,783 | 521 | - | - | 2,783 | 521 | 皆増 | 皆増 |
| | 計 | 2,783 | 521 | - | - | 2,783 | 521 | 皆増 | 皆増 |
| 入 院 計 | | 7,311,656 | 131,092 | 7,787,358 | 146,835 | △ 475,702 | △ 15,743 | 93.9 | 89.3 |
| 外 来 計 | | 2,750,497 | 177,978 | 2,894,215 | 189,302 | △ 143,718 | △ 11,324 | 95.0 | 94.0 |
| 合 計 | | 10,062,153 | 309,070 | 10,681,573 | 336,137 | △ 619,420 | △ 27,067 | 94.2 | 91.9 |

別表3

経営分析表

| 区分 | 分析項目 | 算式 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 全国平均(元年度) | 説明 |
|------|--------------------|--|-------|-------|--------|--------|--------|-----------|---|
| 構成比率 | 固定資産構成比率 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$ 資産合計=固定資産+流動資産 | 72.1 | 73.2 | 73.7 | 74.5 | 76.7 | 77.0 | 資産合計のうち固定資産の占める割合をみる。数値が小さいほどよい。 |
| | 自己資本構成比率 | $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$ | 72.1 | 71.9 | 70.7 | 68.3 | 66.5 | 27.6 | 負債・資本合計のうち資本金、剰余金と繰延収益の占める割合をみる。数値が大きいほどよい。 |
| 財務 | 固定比率 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$ | 100.1 | 101.8 | 104.2 | 109.0 | 115.3 | 279.1 | 資本金、剰余金と繰延収益で、固定資産をどの程度まかなっているかをみる。公営企業では大となる。100%以下が望ましい。数値が小さいほどよい。 |
| | 固定資産対長期資本比率(長期適合率) | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$ | 82.5 | 83.0 | 83.4 | 83.6 | 85.7 | 90.4 | 固定資産が資本金、剰余金、固定負債と繰延収益の範囲内か否かをみる。100%以下が望ましい。数値が小さいほどよい。 |
| 比率 | 流動比率 | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ | 222.7 | 226.6 | 225.8 | 234.7 | 220.8 | 155.5 | 1年以内に現金化できる資産と1年以内に支払わねばならない負債との対比で支払い能力をみる。200%以上が望ましい。数値が大きいほどよい。 |
| | 当座比率 | $\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$ | 220.8 | 226.1 | 224.2 | 232.5 | 218.5 | 149.4 | 当座資産(現金預金、貸倒引当金を除く未収金)と流動負債との対比で支払能力をみる。100%以上が望ましい。数値が大きいほどよい。 |
| 回転率 | 固定資産回転率 | $\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2}$ | 0.80 | 0.83 | 0.78 | 0.74 | 0.67 | 0.72 | 固定資産の利用度をみる。数値が大きいほどよい。 |
| | 総資本回転率 | $\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) / 2}$ 総資本=負債+資本 | 0.58 | 0.61 | 0.58 | 0.56 | 0.51 | - | 総資本の利用度をみる。数値が大きいほどよい。 |

| 区分 | 分析項目 | 算式 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 全国平均(元年度) | 説明 |
|------|-----------------|--|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|---|
| 回転率 | 現金預金回転率 | $\frac{\text{当年度支出額}}{\text{平均現金預金}}$ | 4.95 | 5.52 | 6.20 | 6.48 | 6.61 | - | 現金預金の利用度をみる。数値が大きいほど現金預金の保有高が経営規模に比して小さい。 |
| | 貯蔵品回転率 | $\frac{\text{貯蔵品使用高}}{\text{平均貯蔵品}}$ | 30.8 | 36.8 | 30.8 | 24.7 | 23.6 | - | 貯蔵品を使用し、これを補充する速度をみる。数値が大きいほどよい。 |
| 収益率 | 総収支比率 | $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ | 100.3 | 99.7 | 100.4 | 99.8 | 97.2 | 98.6 | 総収益と総費用の総体的な関連を示す。数値が大きいほどよい。 |
| | 経常収支比率 | $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$ | 100.2 | 99.8 | 100.5 | 99.8 | 97.9 | 98.8 | 収益と費用の経常的な関連を示す。数値が大きいほどよい。 |
| | 医業収支比率 | $\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$ | 90.1 | 94.5 | 95.3 | 94.8 | 92.6 | 92.5 | 営業活動の能率を示す。数値が大きいほどよい。 |
| その他の | 病床利用率 | $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$ | 68.5 | 76.6 | 77.1 | 80.2 | 73.3 | 80.8 | 病床の利用状況を見るもので、経営状況を見る最も基本的な数値 |
| | 患者1人1日当たり(診療収入) | $\frac{\text{診療収入}}{\text{年延患者数}}$ | 32,556 | 31,777 | 31,192 | 30,467 | 29,337 | 37,867 | 病院経営の基本的な指数 |
| | (入院) | $\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$ | 55,775 | 53,035 | 51,580 | 49,833 | 48,485 | 66,249 | |
| | (外来) | $\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$ | 15,454 | 15,289 | 15,131 | 14,457 | 13,818 | 19,889 | |

(注) 全国平均は、「令和元年度地方公営企業年鑑」の総平均による。
ただし、収益率、病床利用率及び患者1人1日当たり診療収入については、同年鑑の一般病院500床以上の平均による。
(令和2年度は未発表)